

そのほかにも、「龍興寺」の国宝「一字蓮台法華經」を始め数々の重要文化財があり、町の文化を高めるものとして、大切に保存されています。

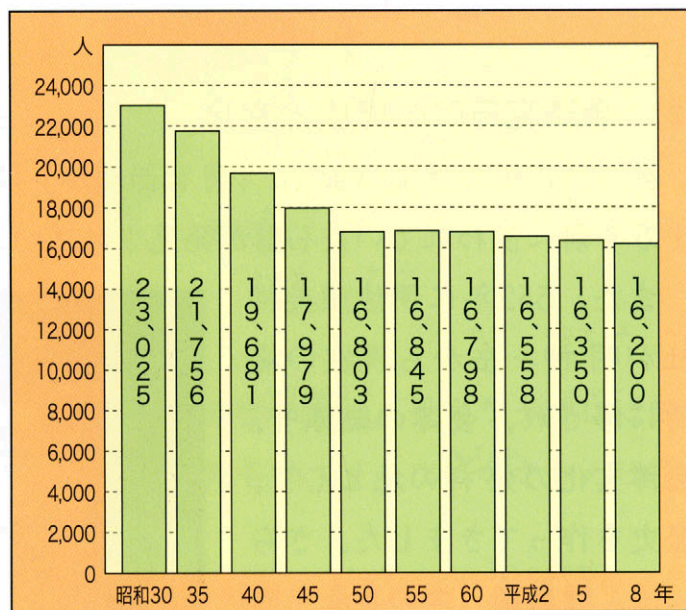
今の会津高田町は、昭和30年(1955年)に高田町、永井野村、赤沢村、藤川村、旭村、尾岐村、東尾岐村の1町6村が合併してできたものです。

人口は、昭和30年の23,025人をピークに年々へり始め、昭和50年ころから横ばい状態を続けていて、平成9年(1997年)8月で16,118人となっています。



▲国宝「一字蓮台法華經」

会津高田町の人口の移り変わり



(会津高田町役場調べ)

(3) 会津高田町の土地の様子

会津高田町の地形は、南の方が山地で高く、北の方に田畑や集落が広がり、全体として南北に細長い形をしています。